

Zen メソッド (3次元処方) による治癒症例シリーズ

その1 白血病 (血液の癌) とダウン症のケース

【序論】

私は、イギリスに住んでいた頃、潰瘍性大腸炎を患い、万策尽きた時、ホメオパシーに出遭い完治した経験をきっかけに、ホメオパシーを学び、日本人初のホメオパスとなりました。

約18年前、未だホメオパシーが殆どの人々に知られていなかった日本にホメオパシーを普及し、1997年には日本初のホメオパス養成コースを開校し、学長を務めています。

現在では、全国に300以上の日本ホメオパシーセンターがあり、600名以上のホメオパスが日本各地で活躍しています。私は、この日本ホメオパシーセンターの総センター長を務め、後輩ホメオパス達の育成にも力を注いでいます。私の勤務する東京センターには、月々約300名のクライアントが訪問します。

1998年、日本ホメオパシー医学協会を設立し、ホメオパシー職業保険を適用させる事に成功し、ホメオパスの職業的地位を築きました。

現在、日本では、推定15万人がホメオパシーを使用する程、ホメオパシーは発展しています。

私は、日本へホメオパシーを持ち帰り、医原病大国の日本における様々な難病ケースを通じZenメソッド (3次元処方) を10年かけて確立しました。

このメソッドは、アトピー性皮膚炎、発達障害、癌、など、現代社会において不治の病と呼ばれる複雑な病理に対しても高い治癒率を持っており、禅メソッドで治癒したケースをご紹介する事で、世界各国におけるホメオパシー療法の発展に貢献できる事を願います。

【本論】

癌は真菌

真菌の繁殖は、「免疫が落ちている」状態です。真菌感染は、表皮ではなく、真皮の問題です。血液がにがり免疫が落ちている状態だと、真菌が繁殖し、真菌そのものが毒素を出します。しかし、水虫、カンジダ、真菌が出ているのは良い事なのです。出ているうちは癌になりません。癌は体内の酸性度が強すぎる状態のことです。真菌が育ちやすい体の環境が癌になりやすい土壌と言えます。癌細胞には酸素がなく、真菌に強い性質をもっています。体が酸性に大きく傾いたときに、体は組織を癌にしても真菌のはびこりから体を守ろうとします。イタリア医師トゥリオ氏も「癌はカンジダによって生じる真菌」であると言っています。普段は免疫系によって抑制されているカンジダが、免疫系が下がった時に、強力な菌に変異し増殖すると言っているのです。

予防接種や解熱剤の使用により老廃物の排出が抑圧された人は、汗をかけません。低体温の人が多くなります。現代の日本人には、35度台という低体温の人が増えています。その結果としてカンジダがはびこりやすくなります。健康な人の体温は、36.5度以上です。カンジダは高温で死ぬため、熱がだせないでカンジダがはびこりやすくなります。そのため熱を出すことが大事なのです。

日本人に合うメソッド

タミフルとは経口型抗インフルエンザウイルス剤の商品名です。日本はタミフルの処方数が世界第一位で、2005年の統計では世界のタミフルの使用量の80%が日本で使われました。これはアメリカの4倍の量で、異常なことです。

日本では160年前から、予防接種をしてきました。そして1848から1994の50年間、予防接種は義務でした。1993年にMMRを接種された子供たちが次々と死亡したり、麻痺が残り、国は責任を追及され訴訟問題が起きました。このため事故が起きても責任を問われないように1994年に予防接種を義務から外し、「義務」から「勸奨（努力）」へと変更されました。

（参照「予防接種トンデモ論」由井寅子著 ホメオパシー出版）

体内に残留した水銀量を測定し、国別に比較した資料があります。それによると、日本人の水銀量は世界一です。しかも、二位の国の8倍という断トツの一位です。そのため日本人の身体は腐りにくいと言われています。スマトラ沖地震では、日本人旅行者にも犠牲者がでました。現地の人の遺体はすぐに腐るのに、日本人の遺体だけは腐敗が進まず不思議がられたそうです。何故でしょう？

日本人には、体内への水銀の含有量が多く、また多くの防腐剤入り添加物の入った食事を当たり前のようにとることで、細菌が繁殖できないために腐りにくい体になっているのではないかと思うのです。

私が英国で見ていた患者と日本の患者では、レメディーの効きが違うということを見ました。日本人は、多くの医原病を抱える民族で、難病、癌、自閉症が多く発生しています。このような日本人に対して、従来のホメオパシー・メソッドでは、ケンティアン・メソッドは言うに及ばず、従来欧州で行われてきたプラクティカルと言われる手法でも全く歯が立ちませんでした。それが10年かけて日本人に合うZenメソッド（三次元処方）を確立してからは、多くの患者を治すことができるようになりました。このメソッドは、日本で生まれたので「Zen（禅）」としました。また三位一体で患者をみるので「三次元」としました。医原病が多く、難病を多く持つ日本人を治癒させるために研究を重ねて作りあげたメソッドは高い治癒率をあげています。

Zenメソッド

Zenメソッド（三次元処方）についてももう少し説明します。薬や予防接種の影響を排出するために、マザーチンクチャーの中にトートパシー（原因となった薬剤のレメディーを使う方法）で薬や予防接種のレメディーを入れます。マザーチンクチャーで臓器のサポートをしながら、体内の異物を排出させることができます。そして、「朝」にミネラルのレメディー、「昼」にマヤズムレメディー、「晩」に植物、動物のレメディーをLMポーションでだし、それぞれコップに2cmの水に2滴入れて、20回かき混ぜてとります。朝、昼、夜のレメディーには次のような役割があります。

朝	ミネラルのレメディー	根本体質のレメディー	身体
昼	マヤズムのレメディー	罹り易さのレメディー 遺伝、サスセプタビリティー	魂
晩	植物、動物のレメディー	今出している症状にあったレメディー 症状、現在の状態	感情

そしてレメディーは毎日リピートしてとっていきます。

こうすることで、患者はより早く治り、より治癒率が上がりました。

由井の癌へのアプローチ（三次元処方 - Zen メソッド）

以前は多くの癌患者に対して、最初に Carc.からだしていたのですが、これではうまくいきませんでした。そこで癌の場合でも、抗疥癬治療からやることで、治癒に導くことができました。結核や癌はマヤズムというよりも、「傾向」です。また結核や癌は3つのマヤズムが合体した姿であり、二次的 Psor の病気であるため、抗疥癬レメディーを出さない限り癌は治らないのです。そして結核や癌がはびこる土壌をきれいにするために老廃物を出すことが大切です。そのためには医原病出し、臓器サポート、抗疥癬治療が必要です。

「慢性病論」より引用

病気の現れ方はあまりにも多様である。その変化の仕方も極めて多い。

従って、従来の病理学によって提示された病気の症状では、もはや網羅することはできないであろう。

(1) その病名を挙げてみよう。瘰癧(るいれき)、佝僂病(くるびょう)、風棘(ふうきょく)[骨結核の一種]、萎縮、消耗、結核、肺病、喘息、粘液性結核、・・・肉腫、骨腫、硬性癌、唇癌、頬癌、乳癌、子宮癌、・・・など。

それらは、表に現れるようになったマヤズム性の根源的な病気の、すなわちソーラの特徴的な二次的症状であり、そのソーラこそは、これまでずっと知られてこなかったけれども、実は、不幸を生み出す、千の頭を持つ怪物なのである。

「オルガノン」§ 80

このソーラは、他のたくさんの病気、それどころか数え切れないほどのあらゆる病気の形態を生み出す真の**根本原因**であり、生みの親である。こうした病気の形態は、病理学書に独自の別々の病気としていろいろな病名で図示されている。以下、病名をあげよう。

まずは、神経衰弱、ヒステリー、心気症、躁病、うつ病、精神薄弱、半狂乱、てんかんとあらゆる種類の痙攣。そして、骨軟化症(くる病)、るいれき、脊柱側弯と脊柱後湾、骨膿瘍、癌、血管性腫瘍、新生物、痛風、痔、黄疸およびチアノーゼ、水腫、無月経、胃・鼻・肺・膀胱・子宮からの出血。更に・・・。

このようにハーネマンは明確に癌は疥癬マヤズムの疾患であると言っている。

【結論】

疥癬治療の重要性

(病気の)癌はレメディーの Carc.では完全には治すことはできません。癌を制覇するためには抗疥癬治療が必要です。なぜなら、癌も元々は疥癬から発生しているからです。癌マヤズム、結核マヤズムと言われますが、癌や結核はマヤズムではなく傾向であり、疥癬、淋病、梅毒のコンビネーションです。病気のいかなる段階でも抗疥癬治療が必要になります。病気の表れている部分によって、次のように使い分けます。

・肉体/臓器レベル ・・・ティッシュソルト、マザーチンキ

・バイタルフォース/感情/精神 ・・・希釈振盪したレメディー

どうして私がこの Zen メソッドに行きついたかということ、私は、後世の人によって「創作されたハーネマン像」ではなく、「創意工夫するハーネマンの姿」をよりいっそうはっきりと見ることができたからです。創意工夫するすべての人がそうであるように、彼は自分で設けた規則を何度となく破っていきました。そして私たちに分かったことは、ホメオパシーを生み出し、広めたその人物は、“いかにしてホメオパスとなるか”を学んでいる途上にあつた、ということです。彼はきわめて実験的精神に富んでいて、自分の学説

にとらわれませんでした。一回一回の処方が冒険でした。彼は、これから何が起こるのかわかりませんでした。起きたことにすっかり驚いてしまうことも多くありました。まさに生涯を終えるその時まで、彼は観察と実験を継承していったのです。

リマ・ハンドリーによる「晩年のハーネマン」による、ハーネマンの晩年の処方は以下の通りである:-

1838年 Sulph. C ポーテンシーの上昇法

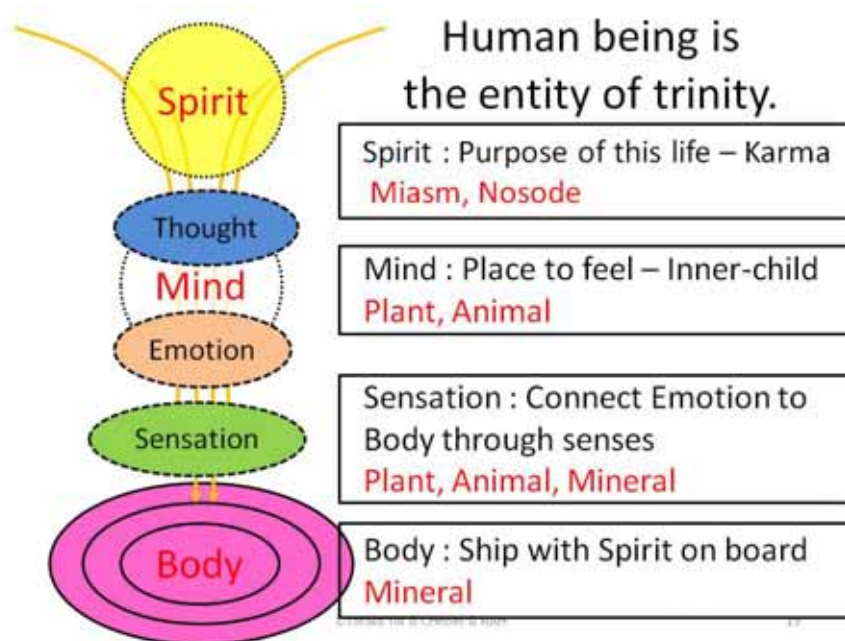
1840年 LM ポーテンシーの実践開始 順次段階的な上昇法に定着

最終的にはLMのSulph.のみ使用 = 抑圧の蓋を取る事に力を入れた(つまり、抗疥癬治療)

急性症状(好転反応)には対処しない。乳糖を与えて様子を見る

しかし、私達はハーネマンを越えなければなりません。ハーネマンの時代には、放射能、抗生物質、コーチゾン等はありませんでした。ですから、私達はハーネマンを越えねばならないのです。

私自身も今日まで創意工夫と努力を重ねてきました。Zenメソッドでは、急性症状への対処と抗疥癬治療を同時に行います。さらに、自分自身の気づきにより、心の在り方、考え方、生き方を治さない限り、未解決の感情(インナーチャイルド)がPsoraを刺激して、いったんは治ったようにみえても病気は戻ってきてしまいます。ホメオパスはクライアントの心に光を灯す重要な役割も担っています。このため私はクライアントへ内なる自身、インナーチャイルドを観るように話します。自分が取り乱した時、怒った時、どうして取り乱したのか、どうして怒っているのか自分自身に尋ねます。答えは自分自身の内からきます。これがインナーチャイルドの癒しです。人間の実体は、魂、精神、身体の三位一体です。魂と精神の間には思考があります。思考と感情の間に精神があります。感情と身体の間には感覚があります。



感情は常に動いており、安定していません。感情は、喜び、怒り等を作り出します。しかし、道徳から「私は今怒ることができない。」と考え、その怒りを抑圧します。もし、その怒りを抑圧すると、身体の何処かに熱の感覚を持ちます。その熱は、身体に落ち、身体は、関節炎などの痛みを感じます。私達は感情について多く考えなければなりません。なぜ私達は、このような感情に揺れてしまうのでしょうか。その回答は、内なる自分から来ます。心の中には思考と感情があります。それぞれの部分には次のような意味があります。

部分	意味	適応するレメディー
魂	この世の目的 - カルマ	マヤズム、ノゾーズ
心（思考と感情）	感じる場所 - インナーチャイルド	植物、動物
感覚	心と身体をつなぐ	
身体	魂の乗舟	ミネラル

健康な体はバイタルフォースが中心にあります。バイタルフォースには二重性があり、健康なバイタルフォースとホメオスタシスが適切に動いていれば、私達は決して病気にならないでしょう。しかし、バイタルフォースがいったん弱まると、バイタルフォース自身が病気を作り出します。これは、バイタルフォースの二重性と呼ばれます。二重性の一つは疾患を作り出し、もう一つは健康を維持します。

ケース

男性 12 歳

【主訴】 ダウン症。白血病で抗癌剤投与 ダウン症・急性白血病予後

【現病歴】 ダウン症候群；生後すぐ告知。

【予防接種歴】 ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・ハシカ・風疹・BCG

【既往歴】 BCG接種後から鼻風邪をよく引くようになり、滲出性中耳炎になった。
インフルエンザ / 水疱瘡 / CVカテーテル導入（2回）

<タイムライン>

妊娠中 希望しての妊娠。つわり軽い。胎動が弱い。

出産状況 3077g 6時間の安産。産声弱々しく、すぐ泣き止む。ダウン症告知。

0才 哺乳力弱く6ヶ月まで混合栄養、その後ミルク（1才6ヶ月まで） BCG 予防接種

0才10ヶ月 滲出性中耳炎（～3才4ヶ月）

1才6ヶ月 喋り出し その後全く言葉を言わなくなる。

3才1ヶ月 インフルエンザ罹患

3才2ヶ月 水疱瘡罹患。→薬で止めた

3才4ヶ月 滲出性中耳炎治癒

3才6ヶ月&7ヶ月時、40度超の発熱、1日で下がる。

3才8ヶ月 40度の発熱2日間、その後微熱が1週間。

3才9ヶ月 急性白血病発症、入院。6ヶ月間 抗癌剤治療 キロサイド=5回クール

4才3ヶ月 化学療法終了、退院。

9才9ヶ月 急性白血病が再発

10歳 再発 血小板数1万3千。大変低い。

2011年4月21日

彼は二つの難病を持っています。一つはダウン症で、もう一つは白血病です。

次のルブリックを選びました。

私は、THE BÖNNINGHAUSEN REPERTORY (TBR)を使っています。

< TBR ルブリック >

192. Appearance – Mouth, staying open(gaping) :

183. Appearance - Eruptions(exanthema) : - mouth, about the :

369. Sour - desires :

1708. < Cold, after being(effects from ‘catching’ cold) :

1738. > heated(internally overheated), from being : - radiant heat source(fire, heater, stove, etc) :

660. Blood & Circulation – Reduced (inadequate)circulation(with pallor, etc.) :

905. Sides of the body – right side :

791. Mind - Indifference :

< TBR 結果 >

順位	レメディー名	出現回数	1	2	3	4	5	6	7	8
1	Ars.	8	2	4	3	1	4	4	1	2
2	Ign.	7		2	2	2	4	3	3	3
3	Bell.	7	4	2		4	1	3	2	2
4	Sulf.	7		3	3	3	2	3	1	2
5	Con.	7		2	1	3	1	3	1	3
6	Sep.	6		4	2	3		3	1	4
7	Puls.	6	2		2	4		4	1	4
8	Scill.	6	3	1	3			4	2	2

< 処方結果 >

随時 φShinz +Merc-sol.30C +Alum.30C +Antican-C-D30C +Antibiot-C-D30C +Pyrog.30C

朝 Hep.LM1

昼 Carc.LM2

夜 Ars.LM3

Aresnicum は、白血病に良いレメディーです。No.1 レメディーです。

3 次元的に処方しました。

彼は血中に多くの膿がありましたので、Hep-sulph はとても重要です。

朝に Hep-sulph LM1、昼に Carcinosis LM2、晩に Arsenicum LM3.

赤血球の中に多くの膿がありましたので、サポート Shin を彼に与えました。

血中に白血球と老廃物の為に循環が困難です。ですので、心臓はサポートされる必要があります。最も重要な臓器は一番最初にサポートされなければなりません。私は、抗癌剤レメディー30C、Merc-sol 30C、Alum 30C をサポートティンクチャーに加えました。多くの若者の白血病は、ワクチンが原因です。特に、アルミと水銀の害。ですので、これは身体に対してです。トートパシーのレメディーによる臓器サポートと排泄。

ベースのマザーティンクチャーは、Cactus と Crataegus です。

カクタス *Cactus Grandiflorus* ヨルザキサボテン

強心剤として与えると、衰弱し痛む心臓に有益である。痛みが耐え難い充血性の損傷にも有効。
体内作用は心臓と循環器系にある。
悲しみ、不安、死の恐れ、簡単に恐怖に駆られるといった精神状態。

クレティーガス *Crataegus* サンザシ

心筋に作用する優れた心臓の強壮剤。
心機能障害、心臓の弁の疾患、または貧血が原因で脈が弱く速い、呼吸困難、むくみによい。

私は、このティンクチャーに Calc-phos と Zinc-mur を入れました。Calc-phos は、必須ミネラルですので、癌の方々に非常に重要です。これら全てのレメディーは、慢性病論と純粹マテリア・メディカの情報から来ています。

2011年07月14日

患者からの報告

【変化した事】

- ・咳 とり始めの翌日くらいから始まる痰のからんだような咳。
- ・背中に赤みが強いブツブツ、口の周りの発疹が落ち着いた
- ・耳から膿が出た（耳が聞こえづらい）
- ・汗が出るようになった
- ・自分を否定されると涙を流した

彼は自分の意思を持ち始めました。これは良い事です。また、感情も示す様になり、大変良いです。口の周りの発疹も、下部に降り、これもまた良い事です。

< TBR ルブリック >

1472. Eruptions - Miliary(miliaria rubra, heat rash [prickly heat]) :

250. Back - Back in general:

100. Discharges(effluxion) from the ears- purulent(pus) :

104. Hearing - Difficult(hardness of hearing) :

164. Appearance - Colour, - pale:

< TBR 結果 >

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5
1	Sulf.	5	17	3	4	2	4	4
2	Sil.	5	17	2	4	4	4	3
3	Puls.	5	17	3	4	3	4	3
4	Calc.	5	15	2	4	3	4	2
5	Bell.	5	14	3	4	1	4	2
6	Caust.	5	14	3	4	2	3	2
7	Rhus.	5	14	3	3	2	3	3
8	Merc.	5	13	4	3	3	2	1
9	Sep.	5	13	1	4	1	3	4
10	Nat-m.	5	11	1	4	1	2	3

< 処方結果 >

随時 ΦSupport Spleen + Tamiflu remedy + Sul-ac. 30C + Calc-phos. 12X

朝 Sil. LM1

Sulph. LM2

昼 Carc. LM3

夜 Puls. LM4 (night)

私は、彼にサポート Hiz を与えました。白血病の方々に良いです。脾臓は、免疫系に非常に重要で、私は、彼に脾臓のサポートを与えました。彼は多くのタミフルを摂っていましたので、タミフル薬剤レメディーをトートパシー的に加えました。

サポート脾臓に対するマザーティンクチャーは、Ruta と Echinacea です。

Calc-phos 12X も加えました。

私はまた、Sul-ac 30C も加えました。Sul-ac は、体内の老廃物を非常に速くします。

酸っぱい汗があり、汗が黄色いミになる場合、Sul-ac です。

著者について

由井寅子 Ph.D.Hom

日本におけるホメオパシー第一人者。

そのホメオパシーの実践とハーネマン研究は世界的に評価され、21 世紀のホメオパシーをけん引する指導的ホメオパスとして期待されている。著者、論文、訳書多数。

College of Holistic Homoeopathy (CHhom) 学長

The Japan Royal Academy of Homoeopathy (RAH) 学長

日本ホメオパシー医学協会 (JPHMA) 会長

日本ホメオパシー財団 (JPHF) 理事長

日本ホメオパシーセンター総センター長

英国ホメオパシー医学協会 名誉会員
英国認定ホメオパス連合認定ホメオパス
日本ホメオパシー医学協会認定ホメオパス
カレッジ・オブ・プラクティカル・ホメオパシー（CPH）名誉会員
パイオニア大学ホメオパシー名誉博士
国際医学大学（International Medical University）ホメオパシー博士
クリニカルホメオパス D. C. Hom
農業生産法人日本豊受自然農株式会社 代表取締役
農業従事者